

茨城大学同窓会連合会会報

2025.3
第19号

ホームカミングデー

旧年！地域になくてもならない茨大への脱皮に期待！



茨城大学同窓会連合会
会長 大舘 徹

令和6年9月の総会におきまして、杉田前会長を引き継ぎ、会長に選出されました。みなさま方のご協力を頂戴し、円滑な会運営に努めてまいりたいと存じます。

私は、農学部を卒業、昭和59年に茨城県に入庁し、現在は定年退職し茨城県農林振興公社に在籍しております。

学生時代は、2年次から農学部（阿見町）に移り、育種学研究室の先生方や先輩後輩と夜間まで共に時間を過ごし、また管弦楽団では毎週本部に通い、他学部の学生とも交流。茨大は人生を支える知識、大切な知己を得る貴重な場であったと感謝しております。

さて、同窓会連合会への参画などを契機として、茨大の成果や課題に接する機会が増えました。例えばイバダイ・ビジョン2023レポートを拝見しましたが、教育・研究において優れた成果があがっていることが読み取れる一方、国からの交付金は20年間で約10億円減額され、2023年には56億円余となっており、国や地域の理解を得ながら資金や人材、協力を確保していくことが重要となっていることを実感しました。

このような中、今年度、イバダイ・サステナ・パートナーズ（略称：イバサス）が創設されます。関係者の他、大学を応援したい方に入会いただき、情報発信を通して茨大を広くご理解ご支援頂く良いツールになるものと期待しております。同窓会連合会としても協力してまいりたいと存じます。

最後になりますが、在校生のみなさまには素晴らしい先生方、過ごしやすいキャンパスといった恵まれた環境の中で勉学に励み学生生活を謳歌されること、卒業生のみなさまには健康に留意され豊かな人生を過ごされることを祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

次世代育成に向けて：同窓会の新たな役割



茨城大学
学長 太田 寛行

茨城大学同窓会連合会の皆様方には、連合会が発足した2006年以来、ほぼ20年にわたって大学との連携を着実に展開していただき、魅力ある大学づくりに貢献して頂いています。改めて深く感謝申し上げます。

昨年は本学創立75周年を迎えたタイミングで、また、水戸キャンパス・共通教育棟の改装に合わせて、“スチューデントサクセス(Student Success)センター”を設置しました。これは、多様な「学生の自己実現(なりたい自分になる)」を実現できるように、学生の将来像づくりを支え、学生生活だけでなく、学業に関する悩みの解決をこれまで以上に支援する統合的な組織です。人口減少が加速している日本社会においては、学生一人ひとりの自己実現こそが社会を活気づけるはずで、そして、学生たちの自己実現への歩みでは、同窓会の皆さんは範となるはずであり、互いに交流する機会をもっともつことが望まれます。そこで、同窓会が核となって、学生・保護者や、さらにパートナー企業等の大学と連携する団体も加わって、これからの次世代の育成という俯瞰的な視野を持つ統合的な組織をつくる計画です。今年の茨苑祭のときに開催する予定のホームカミングデーは、そのような組織のキックオフとしたいと思いますので、ご理解頂くと共に、ご支援のほどよろしくお願ひいたします。

末筆ながら、同窓会連合会の皆さまの益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

同窓会交流コーナー

文理・人文学部同窓会の近況報告

文理・人文学部同窓会副会長兼幹事長 鈴木 章史

令和6年度総会は、令和6年7月27日（土）に、市内のホテルで行いました。

今回は、太田寛行学長を講師に迎え、大学の特色ある取り組みとして、全国の国立大学に先駆けて、人文社会科学部、工学部及び農学部を連絡協力学部とした教育組織「地域未来共創学環」等について講演をいただきました。



総会出席者の記念撮影

総会では、令和5年度の事業活動報告及び決算報告、令和6年度の事業計画及び予算についての承認、新年度からの役員及び理事（学年幹事）の選任を行いました。特に理事については、若返りを図り、理事全体の約20%に当たる19名の方が新たな理事に就任しました。また、大和田会長を始め、大部分の役員は引き続き留任しました。

総会後に、出席者全員で記念写真の撮影を行い、簡単に昼食会を行いました。次年度以降、多数の会員が出席できる状況になることを願い、解散いたしました。

教育学部同窓会の近況報告

教育学部同窓会幹事長 齋藤 英敏

令和6年度は6月9日（日）に役員会、幹事会・代議員会を対面で6月23日（日）に開催いたしました。小島会長のもと予算審議や事業計画について話し合いました。会の承認を経て、今年度も会の予算から教員採用試験対策等の費用として教育学部に100万円を拠出しました。また、学友会の設置に伴い、会則改訂の検討を現在行っております。新しい会則は次年度総会で検討の後ホームページに公開する予定です。同窓会ホームページはほぼ完成しておりますが、現在調整中です。ホームページから会員登録を可能にしたり、会報の閲覧ができるようにいたします。新年度の4月ごろより可動を目指しております。



ホームページ

理学部同窓会の近況報告

理学部同窓会会長 鈴木 忠和

2024年度の理学部同窓会の活動は、活動に携わる常任幹事の努力により、順調に推移しました。まず、同窓会の活動方針を決めるための第27回幹事会が26名の幹事の方々の出席を得て6月22日（土）に開催されました。会議では2023年度の活動報告、2024年度活動計画の審議をいただき、常任幹事会提案のすべての活動報告、計画について承認をいただき今年度活動をスタートさせました。特に今年度の活動の特徴は以下の3点において新たな展開がはかられました。

- ・一つ目はここ数年、同窓会の運営状況が改善されたことを考慮し、同窓会として理学部に協力して学生への支援活動を実施したことです。具体的には博士後期課程学生への学会等の参加に係る費用の支援です。
- ・二つ目は大学が行っている「同窓会会費の入学時一括徴収」に係る大学側の事務負担を同窓会として共有するため、「茨城大学基金」への協力です。すでに会計報告等で周知されておりますが、同窓会会費は2021年度以降大学が同窓会に代わって一括徴収することで協定が締結され、以降納入者の増加に伴い、同窓会会計は大きく改善されました。一方で大学にとって一括徴収はそのための事務的負担が大きく、各同窓会に対し協力を求められたものです。
- ・三つめは、「大学と同窓会との学生等個人情報の共同利用について」大学と同窓会が覚書を締結し、学生等個人情報について、共同で利用することにより、統一性及び正確性を担保し、情報収集の効率化と相



理水会集合写真(2024年11月2日・みまつホテル)

互の協力関係を発展させることです。

このような活動と並行して同窓会支部活動も成果を上げております。具体的には理水会が11月に、また京水会は10月に開催され会員の親睦が図られました。添付の写真には荷見先生のお元気な姿も拝見できます。

多賀工業会（工学系同窓会）の近況報告

多賀工業会理事 清水 淳

学生支援策の一つとして開始した「国際会議参加費支援」が、昨年（2024年）は採択数が2桁に達しました。今後もこのペースが続くことを願っております。また、同窓会活動への若手参加を促すべく組織した「多賀工業会学生会」の学生達と、週一のペースでミーティングを開いています。学生達は、今年のこうがく祭では、「OB・OGと学生との懇談会」に多大な協力をしてくれると共に、「ポップコーン屋台」をオープンしました（写真）。

昨年もカラーA4版の会報を約18,000部発行しましたが、発行・郵送のコストが大きな課題です。そこで、賛助金（卒業後25年経過した会員に依頼）を納めていない会員と、会費未納の会員には会報を送らないことしております。



強い雨風の中で多賀工業会学生会の学生達が奮闘しています

農学部同窓会の近況報告

農学部同窓会幹事長 小松崎 将一

令和6年3月5日、令和5年度農学部同窓会学生表彰式（後学期）が開催され、学業成績が特に優れ、人物面でも優秀と認められた学部2年生7名と修士2年生7名が表彰されました。本表彰は、農学部同窓会が主催し、優秀な学生を顕彰する「同窓会 学生表彰」事業の一環として実施されたものです。表彰式では、宮口学部長から祝辞が述べられ、学部生に対しては「今後を見据え、さらに勉学に励み、農学研究科への進学も一つの選択肢として考えてほしい」との期待が寄せられました。また、修士2年生には「修了間際の表彰となったが、これを誇りと励みにし、次のステップへ進んでほしい」と激励の言葉が送られました。受賞者を代表して修士学生が謝辞を述べ、「学部から修士までの6年間、研鑽を積んできたが、4月からの就職後も努力を続け、社会に貢献したい」と今後の抱負を語りました。2024～2025年度の農学部同窓会役員体制について農学部同窓会役員会において会長には大朧徹氏、副会長には根本均氏と入野達之氏が選出されました。



役員会出席者の記念撮影

大学トピックス

茨城大学応援団体「イバダイ・サステナ・パートナーズ（略称：イバサス）」設立しました！

この度、創立75周年、創基150周年を記念とした周年事業の一環として、持続可能な地域・グローバル社会の実現に向けて、茨城大学が取り組んでいる教育研究を支援する団体を設立しました。団体の名称については、学内外から公募し「イバダイ・サステナ・パートナーズ（略称：イバサス）」に決定いたしました。

この団体では、大学の近況やサークル活動、同窓会の活動等についての情報発信や会員同士の交流の場を提供します。皆さまが参加しやすい会員専用のコミュニティサイトを立ち上げましたので、ぜひ、会員登録をお願いいたします！



イバサス登録フォーム

「茨城大学ホームカミングデー2024」を開催

令和6年11月10日（日）、「茨城大学ホームカミングデー2024」が茨城大学の主催、同窓会連合会の共催により開催されました。当日は、太田学長による大学の近況報告に続き、本学理学部の卒業生であり、現在作家として活躍されている佐月実先生をお招きし、「小説家になるまでの失敗談」をテーマに特別講演を行いました。さらに、オンラインチャリティーイベント「Giving Campaign」に参加した学生代表による活動報告が行われました。最後に、同窓会連合会の大朧会長よりご挨拶をいただき、本イベントは盛況のうちに閉会となりました。また、本イベントは水戸キャンパスで開催された学園祭「茨苑祭」と同時開催となったため、プログラム終了後には、茨苑祭を楽しめる方々の姿も多く見られました。

第19回茨城大学同窓会連合会総会及び第17回意見交換会を開催

令和6年9月30日(月)に、茨城大学同窓会連合会総会を行いました。「令和5年度の事業報告・収支決算」、「令和6年度の事業計画案・予算案」、茨城大学の応援団体であるイバダイ・サステナ・パートナーズ(略称:イバサス)の創設について審議・報告を行いました。続いて、「次期2年間(令和6・7年度)の役員を選出」が行われ、農学部同窓会の大拙徹会長が、次期茨城大学同窓会連合会の会長となることが承認されました。

また、意見交換会では、各同窓会から活動報告及び今後の活動予定について説明がありました。

茨城大学同窓会連合会役員

(令和6年10月1日～令和8年10月頃開催の総会まで)

名誉顧問	長問 大田 寛行	(茨城大学理事・副学長(総括・財務・企画・評価))	副会長	大和田 雄	(文理学部同窓会会長)
顧問	佐川 久留主	(茨城大学理事・副学長(総務・教育))	会長	大島 陸	(理学部同窓会会長)
顧問	金野 満	(茨城大学理事(学術))	副会長	鈴木 忠和	(農学部同窓会会長)
顧問	山下 田	(茨城大学理事(社会連携・基金運営))	副会長	杉田 龍二	(工学部同窓会会長)
顧問	菊池 あしな	(茨城大学理事(ダイバーシティ・国際・SDGs))	幹事	小松 崎	(農学部同窓会副会長)
顧問	能島 征二	(日本芸術院会員)	幹事	鈴木 章史	(文理学部同窓会副会長)
		(公益社団法人日本美術展覧会副理事長)	幹事	齋藤 英一	(理学部同窓会副会長)
		(公益社団法人日本彫刻会常務理事)	幹事	清水 淳	(多賀部同窓会副会長)
		(農学部同窓会)	幹事	長谷川 守文	(農学部同窓会副会長)
会長	大拙 徹	(農学部同窓会)			

令和5年度事業報告 (事業期間: R05.10.1 ~ R06.9.30)

年月日	事業項目	内容
R5/10/31	第47回幹事会	【議題】 ①第18回茨城大学同窓会連合会総会の議事について ②第18号会報の発行について ③令和5年度同窓会連合会費の納入依頼について
R5/11/6-12	Giving Campaign 2023(秋)	【後援】 ①物価高騰などによる厳しい状況が続く茨城大学の学生団体への支援 ②茨城大学の支援者コミュニティの拡大・活性化 【共催】茨城祭の開催にあわせて、ホームカミングデー2024を開催 ①開会挨拶及び大学の近況報告 ②進歩学長特別補佐(SDGs推進)による特別講演 ③学生報告(Giving Campaign参加報告) ④卒業生(理工学系)による「後援者アンケート」の発表 ⑤「絆」をテーマにしたSDGsに関するパネルディスカッション ⑥校歌静聴、開会挨拶、記念撮影
R5/11/11	ホームカミングデー2023	【議題】 ①令和4年度事業報告及び収支決算について ②同窓会への支援要請について(周年事業等) ③令和5年度事業計画・予算(案)について ④大学と同窓会との情報連携について(個人情報の共有化) ⑤校友会創設に向けた中間状況説明 ⑥茨城大学ホームカミングデー2023の実施・結果について ⑦Giving Campaign 2023の実施・結果について ⑧茨城大学情報ネットワークシステム利用要項に基づく手続きについて
R5/11/20	第18回総会	【議題】 ①令和4年度事業報告及び収支決算について ②同窓会への支援要請について(周年事業等) ③令和5年度事業計画・予算(案)について ④大学と同窓会との情報連携について(個人情報の共有化) ⑤校友会創設に向けた中間状況説明 ⑥茨城大学ホームカミングデー2023の実施・結果について ⑦Giving Campaign 2023の実施・結果について ⑧茨城大学情報ネットワークシステム利用要項に基づく手続きについて
R5/11/20	第16回意見交換会	各同窓会の活動状況(現行及び今後の活動について)
R6/3/8	会報「第18号」発行	発行部数:5,000部 卒業生・修了生への配付 職域同窓会への郵送
R6/6/7	第48回幹事会	【議題】 ①令和6年度ホームカミングデーの開催について ②Giving Campaignの開催について ③イバダイ学シンポジウムへの共催について ④校友会の創設について
R6/9/11	第49回幹事会	【議題】 ①第19回茨城大学同窓会連合会総会の議事について ②第19号会報の発行について ③令和6年度同窓会連合会費の納入依頼について
R6/9/30	第19回総会	【議題】 ①令和5年度事業報告及び収支決算について ②大学への支援について ③令和6年度事業計画及び予算(案)について ④令和6～7年度後身の選出について ⑤茨城大学校友会(仮称)設立について ⑥Giving Campaign 2024の開催について ⑦茨城大学ホームカミングデー2024の開催について ⑧茨城大学情報ネットワークシステム利用要項に基づく手続きについて

令和6年度事業計画 (事業期間: R06.10.1 ~ R07.9.30)

年月日	事業項目	内容
R6/10/11-20	Giving Campaign 2024	【後援】 ①茨城大学の学生団体への支援 ②茨城大学の支援者コミュニティの拡大・活性化 【共催】茨城祭の開催にあわせて、ホームカミングデー2024を開催 ①開会挨拶、大学の近況報告 ②本学理学部卒業生である作家の特別講演 ③学生報告(Giving Campaign上団体によるお礼パフォーマンス) ④校歌静聴、開会挨拶、記念撮影
R6/11/10	ホームカミングデー2024	【議題】 ①令和5年度事業報告及び収支決算について ②大学への支援について ③令和6年度事業計画及び予算(案)について ④ホームカミングデー2025の開催について ⑤Giving Campaign 2025の開催について
R7/3	会報「第19号」発行	発行部数:5,000部(案) 卒業生・修了生・職域同窓会への配付を予定
R7/5-6	第50回幹事会(予定)	【主な議題】 共催:ホームカミングデー2025の開催について 後援:Giving Campaign 2025の開催について
R7/9-10	第51回幹事会(予定)	【主な議題】 ①10月開催予定の茨城大学同窓会連合会総会の議事について ②第20号会報の発行について ③令和7年度同窓会連合会費の納入依頼について
R7/10	第20回総会及び第18回意見交換会(予定)	【主な議題】 ①令和6年度事業報告及び収支決算について ②大学への支援について ③令和7年度事業計画及び予算(案)について ④ホームカミングデー2025の開催について ⑤Giving Campaign 2025の開催について

令和5年度収支決算 (会計期間: R05.10.1 ~ R06.9.30)

事項	収入額		備考	支出		備考
	当初予算	収入額		当初予算	支出額	
1 繰越金	839,850	839,850		1 管理費	135,000	128,130
2 会費	250,000	250,000	同窓会連合会費(5学部同窓会×5万円)	(1) 通信費	10,000	6,030
3 事業費	0	0		(2) 印刷費	120,000	121,000
4 預金利息	9	63	2月分・8月分	(3) 事務費	5,000	1,100
5 寄附金	1,200,000	1,200,000	茨城大学基金への寄附(各同窓会からの拠出金)	2 事業費	1,340,000	1,300,000
合計	2,289,859	2,289,913		(1) 会議費	10,000	0
				(2) 交際費	30,000	0
				(3) 寄附金	1,250,000	1,250,000
				(4) 共催金	50,000	50,000
				3 予備費	814,859	0
				合計	2,289,859	1,428,130
				次年度繰越額		861,783

令和6年度予算 (会計期間: R06.10.1 ~ R07.9.30)

事項	収入		備考	支出		備考
	決算額	収入		決算額	支出	
1 繰越金	861,783			1 管理費	135,000	
2 会費	250,000		同窓会連合会費(5学部同窓会×5万円)	(1) 通信費	10,000	会報郵送、総会案内発送等
3 事業費	0			(2) 印刷費	120,000	会報5,000部印刷
4 預金利息	63		2月分・8月分	(3) 事務費	5,000	消耗品、振込手数料
5 寄附金	2,000,000		茨城大学基金への寄附(各同窓会からの拠出金)	2 事業費	2,060,000	
合計	3,111,846			(1) 会議費	10,000	役員との懇談会費
				(2) 寄附金	2,000,000	茨城大学基金への寄附
				(3) 共催金	50,000	ホームカミングデー
				3 予備費	916,846	
				合計	3,111,846	

編集後記

令和6年10月11日～20日に開催したオンラインチャリティイベント「Ibaraki University Giving Campaign 2024」では、今年度は100大学が参加し、本学は67の学生団体に参加しました。全体で13番目に多い延べ9,000人以上の方から応援や温かなメッセージをいただき、大きな盛り上がりとなりました。これは、学生の呼びかけに対して、友人や保護者だけではなく、卒業生の皆さまのお力添えがあったからこそだと感じております。今後も、茨城大学同窓会連合会は、学生と卒業生との繋がりを様々な形で繋げていけるよう活動を行ってまいります。 M.Y

茨城大学同窓会連合会事務局
(国立大学法人茨城大学研究・社会連携部社会連携課内)
〒310-8512 水戸市文京2-1-1
電話: 029-228-8781 FAX: 029-228-8495

茨城大学HP
<http://www.ibaraki.ac.jp/>
茨城大学同窓会連合会HP
<https://www.ibaraki.ac.jp/generalinfo/alumnus/union/>



茨城大学

イバサス 大募集

プレ登録はこちら！



プレ登録後、正式なご案内をお送りいたします。

母校と繋がり、未来を創る架け橋に

卒業生の皆様へ

ご卒業、おめでとうございます。

茨城大学の新たな取り組み

「イバダイ・サステナ・パートナーズ(略称:イバサス)」
で、これからも母校と繋がり続けませんか？
イバサスは茨大と社会を繋ぐネットワークとして設立されました。

会員になると…

- ❁大学の最新情報やイベント案内をいち早く受け取れます！
- ❁卒業生同士の交流会や大学関係者との交流の機会！
- ❁在学生との関わりの中で、次世代育成に貢献できます！
- ❁あなたの経験や知識を活かして、母校の発展と持続可能な地域社会づくりに参画！
- ❁茨大で培った絆をさらに深め、共に未来を創りましょう。

【お問合先】

イバダイ・サステナ・パートナーズ事務局
(茨城大学 研究・社会連携部 社会連携課)
TEL:029-228-8781

Next Step

茨城大学の次なる75年、150年に向けて、ご支援のお願い

—— 茨城大学基金を通じた“イバダイ・ビジョン2030”達成への

ご支援とご協力をお願いします ——

茨城大学は、2024年5月31日に、新制大学として創立75周年、最も古いルーツ校である拡充師範学校の創設から150年を迎えました。この75周年、150周年という節目の年を迎えることができましたのも、創立から今に至るまで本学を支えてきてくださった、多くの関係者の皆様、卒業生の皆様、地域の皆様のおかげであり、厚く御礼申し上げます。

本学は、2020年度末に、10年後の大学の姿を策定した“イバダイ・ビジョン2030”を公表しました。このビジョンの目標は、「自律的でレジリエントな地域が基盤となる持続可能な社会の実現」であり、3つの行動方針、①「世界の俯瞰的理解と多様な専門分野の知の追究」、②「多様な主体を結びつける結節点としての機能強化」、③「持続可能な環境づくりのための先進的行動の展開」を掲げました。イバダイ・ビジョン2030は、これまでの本学の歴史を踏まえた、次なる75年、150年の新たな歴史をつくるキックオフの取組です。

教育面でのキックオフとして、5学部に加えて、人文社会科学部、工学部、農学部が連携する、学部相当の新たな教育組織、“地域未来共創学環”（入学定員40名）を本年4月に開設しました。

この新しい教育組織で、学生たちは、ビジネス、データサイエンス、ソーシャル・アントレプレナーシップを身に付け、企業・自治体での長期有給実習（コープ実習）で学びを実践し、地域の未来を切り拓く挑戦者になることを目指します。

さらに、本学が注力することは、人口減少が進む我が国において、学生たち一人ひとりが身に付ける“生きる力”の向上です。その取組の一環として、この4月から全学生に“スチューデントサクセス”を提示し、「サクセス」とは、良い成績で卒業することだけではなく、“自己実現（なりたい自分になる）”の力を身に付けること、と説きました。今後は、その各自のサクセスストーリーづくりを支えるために、海外を含めた学外での実践的な学びに挑戦するIOPプログラム（Internship Off-campus Program）を強化していきます。さらに、本年4月からは、専門分野以外に“自分にもう一つの強みを付ける”というメッセージを込めた「プラス1（アイ）プログラム」（6プログラム：サステナビリティ学、数理・データサイエンス・AI、アントレプレナーシップ、グローバルコミュニケーション、地域志向教育、日本語教員養成）を学部横断で開設しています。

研究面でのキックオフは、“総合気候変動科学”と“総合原子科学”の立ち上げと推進です。“総合気候変動科学”とは、気候変動対応の「適応策」「緩和策」の両軸の研究を相互作用させる新たな学問分野です。この総合科学の目標は、これからの持続可能な社会の形成への貢献であり、国連が掲げるSDGs（持続可能な開発目標）やその後に想定される“ポストSDGs”を視野に入れながら、本学が地球環境のサステナビリティを追究する世界的な研究拠点になることです。

“総合原子科学”では、エネルギー技術や原子・物質・生命科学を融合的に推進する「原子科学」の先進的な研究と高度専門人材の育成を進めていきます。そのスタートとして、本年4月に原子科学研究教育センター（RECAS：Research and Education Center for Atomic Sciences）を開設しました。このセンターでは、学内外の研究施設群との共同研究や社会・地域との連携、新たなプロジェクトの企画・立案を進める「社会／地域課題共解決室」を設けています。RECASは、これからのエネルギー問題に関する社会のニーズの把握・分析や地域コミュニケーションのハブとしての役割を果たしていきます。

以上に述べた教育研究を展開して、本学は“イバダイ・ビジョン2030”の達成に邁進していきます。皆様方には、本学の教育研究活動をご理解頂き、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

茨城大学 学長

太田寛行

ご寄附の使途・支援事業

Next Step

一般基金

茨城大学における教育・研究及び社会連携、学生生活環境整備など本学で行われる様々な活動をご支援いただくための基金となっております。

また、各キャンパス、学部へのご支援や附属学校園へのご支援など、支援先のご指定がある場合は、寄附者のご意向に沿って活用させていただきます。

主な支援事業

- ①教育研究支援 ラーニングcommons等の自習スペースやキャンパス内施設等の環境整備など
- ②社会連携支援 アントレプレナーシップ教育プログラムへの支援など
- ③学生生活環境支援 課外活動施設の改修整備の支援など
- ④附属学校園支援 児童・生徒の教育活動の充実化を目的とした各種活動の支援など



修学支援事業基金 ※税関控除対象基金

経済的事情により学業の継続が難しい学生を支援するための基金です。社会情勢の変化や家計の急変などによって、生活困難に陥り、自らが望む学修活動に困難を来している学生たちのために、経済的な支援を行っています。



研究等支援事業基金 ※税関控除対象基金

学生やポストドク等の若手研究者に対する研究支援や研究者としての能力向上を目的とした支援のための基金です。安定した研究活動を行うための支援、研究成果を発表するために必要な経費や、異なる分野や研究実績のある研究者との交流を促進するための費用などの支援を行っています。

国際交流・留学生支援基金

国際社会では、自らの考えを自らの言葉で話す力が求められます。より多くの学生が、世界に飛び出し、積極性と表現力を身に付けられるよう、学生の国際交流・留学の機会を支援を行っています。

また、本学に学ぶ機会を求めている外国人留学生在が、安心して学修できる環境を整えるとともに、日本での生活全般について支援を行っています。

図書資料および学習環境事業基金

大学図書館は、「学術情報の基地」という重要な役割を果たしています。本学図書館では、分館を含め、100万冊を超える図書・雑誌を所蔵し、広く地域社会の皆様に開かれています。

本基金では、学生用図書や雑誌の更なる充実や情報社会に対応したふさわしいサービスの提供など、必要な環境整備の支援を行っています。

特定基金

様々な方法によるご寄附

Next Step

古本等(書籍、DVD、CD等)の売却によるご寄附

ご不要になった古本やCD・DVD、ゲームソフト等の売却により、その買い取り額をご寄附いただけます。買い取りは、全て提携企業の載リビューブックスによるチャリボンにて行いますので、古本等を大学に運搬する手間や売上の振込みも不要となります。5冊以上の売却で送料無料で自宅での引き取りも可能となります。

※ISBNのない本、百科事典、コンビニコミック、個人出版の本、マンガ雑誌、一般雑誌は取扱いできません。一部の専門書を除き、10年以上前(2010年以前)に出版された本のはほとんどが寄附になりません。詳しくは、茨城大学基金ホームページ(裏表紙のお申込先)からお手続きをお願いします。

遺贈によるご寄附

遺贈とは、ご存命中に遺言書を作成し、その遺言書に則って、遺産の一部を寄附することです。

ご寄附いただいた財産については、税制上の優遇措置を受けることができますので、原則として相続税が非課税となります。

遺贈をお考えの方は、本学提携の銀行をご紹介いたしますので、社会連携課にご相談ください。

支援活動のご報告

これまでに茨城大学基金を活用し、実施した事業は、茨城大学基金ホームページにて、ご報告しております。

<https://www.ibaraki.ac.jp/fund/report/use/>



茨城大学基金賛助会員制度

Next Step

賛助会員制度とは？

茨城大学基金の賛助会員となり、継続的なご寄附(会費)を通じて本学をご支援いただく制度です。個人会員の方は、毎月1千円(年間1万2千円)以上から、法人・団体会員の方は、毎年1口・5万円からの金額でご入会いただくことができます。会員の方には、様々な特典をご用意しています。寄附金は、税制上の優遇措置を受けることもできます。茨城大学をより身近に感じていただくことができる制度です。

特典

入会いただいた皆様へ感謝の意を込めまして、茨大グッズや農学部産産物の送付等、様々な特典をご用意しております。

※特典内容は、都合により予告なく内容を変更する場合があります。また、入会時期により、特典の発送時期が異なります。予めご了承ください。

会員区別	会費(年間寄附額)	主な特典
個人	1万2千円以上	茨大グッズ(Aコース)【入会時のみ】
		茨大カレンダー
	3万6千円以上	茨大グッズ(Bコース)【入会時のみ】
		茨大カレンダー、農学部産産物(年1回)
	6万円以上	茨大グッズ(Cコース)【入会時のみ】
		茨大カレンダー、農学部産産物(年2回)
法人・団体 (1口5万円)	5~45万円 (1口~9口)	茨大グッズ(A+Bコース)【入会時のみ】
		茨大カレンダー、基金ホームページへの企業ロゴ掲載
	50万円以上 (10口以上)	茨大グッズ(Cコース)【入会時のみ】
		茨大カレンダー、大学ホームページへの企業ロゴ掲載

賛助会員特典の例

(写真はイメージです)



茨大カレンダー(非売品)



茨大グッズ(Aコース)



茨大グッズ(Bコース)



茨大グッズ(Cコース)



農学部産産物

賛助会員制度Q&A

Q1 これまでのように賛助会に入会せずに継続寄附を続けることは可能ですか？

A1 これまでどおり、賛助会に入会せずに継続寄附をしていただくことも可能です。ただし、賛助会員制度の特典は、賛助会員制度へご入会いただいた場合のみとなります。

Q2 寄附の使途は選べますか？

A2 一般基金と特定基金の全ての使途からお選びいただけます。詳細については、本パンフレットの「ご寄附の使途・支援事業」をご参照ください。

Q3 茨城大学基金の顕彰制度の対象になりますか？

A3 賛助会員制度でのご寄附も通常の寄附と同じように顕彰制度の対象となります。通常寄附も行っている方は、賛助会員制度との合計を累計額とさせていただきます。詳細については、本パンフレットの「ご寄附への感謝」をご参照ください。

Q4 税制上の優遇措置は受けられますか？

A4 会費は寄附の扱いとなり、税制上の優遇措置が受けられます。詳細については、本パンフレットの「ご寄附による税制上の優遇措置について」をご参照ください。

Q5 特典の農学部産産物とはどのようなものですか？

A5 作付け状況により内容は変わりますが、その時々の手製の野菜や果物等をお送りします。年1回の方は、4月~6月頃、年2回の方は、4月~6月頃および、10月~12月頃にお送りします。
なお、送付時期は予定となりますことご了承ください。

茨城大学基金へのお申込・払込方法について

本学基金へのお申込は、茨城大学基金ホームページを利用した手続きが大変便利です。払込票を使ったコンビニエンスストアでの払込(30万円以内)、銀行振込やクレジットカード決済もご選択いただけます。インターネットを利用できない場合は、本書に添付された申込書に必要事項をご記入の上、のり付けし、そのままポストにご投函ください。後日コンビニエンスストアでご利用いただける払込票を郵送します(手数料無料)。

●個人寄附の方：1,000円～ ●法人寄附の方：10,000円～

お申込みは、こちらです。

茨城大学基金ホームページ
<https://www.ibaraki.ac.jp/fund/application>

茨城大学 基金

検索



ご寄附による税制上の優遇措置について (2024年5月時点)

□個人寄附の方

所得税の優遇措置

本学へのご寄附については、「寄附金控除」の対象となり、確定申告を行うことで、税制上の優遇措置を受けることができます。

寄附金控除には、「所得控除」と「税額控除」があります。「税額控除」は、本学の「修学支援事業基金」または「研究等支援事業基金」にご寄附をいただいた方に限り、控除を受けることができます。確定申告の際に、「所得控除」と「税額控除」のどちらか一方の有利な制度を選択することができます。

所得控除

所得控除^{※1}

$$\begin{array}{c} \text{所得金額} \\ \text{(年収)} \end{array} - \begin{array}{c} \text{諸控除(扶養控除等)} \\ + \\ \text{(寄附金控除)寄附金額}^{\text{※2}} - 2,000\text{円} \end{array} \times \begin{array}{c} \text{税率} \\ \text{(所得に応じた率)} \end{array}$$

所得控除

税額控除

$$\begin{array}{c} \text{所得金額} \\ \text{(年収)} \end{array} - \begin{array}{c} \text{諸控除} \\ \text{(扶養控除等)} \end{array} \times \begin{array}{c} \text{税率} \\ \text{(所得に応じた率)} \end{array} - \begin{array}{c} \text{控除対象額}^{\text{※3}} \\ \text{(寄附金額}^{\text{※2}} - 2,000\text{円)} \\ \times 40\% \end{array}$$

※1 所得控除は、茨城大学へのすべての寄附金が対象となります。

※3 寄附金控除対象額は、その年の所得税額の25%が上限です。

※2 控除対象となる寄附金額は、その年の総所得額等の40%が上限です。

住民税の軽減^{※4}

寄附をした翌年1月1日時点でお住まいの都道府県・市区町村が、条例で茨城大学を寄附金控除の対象法人として指定している場合^{※5}、個人住民税額の寄附金税額控除を受けることができます。

(寄附金額 - 2,000円) × 控除率 (都道府県民税: 4%、市区町村民税: 6%)

※4 控除を受けられる寄附金額は、総所得額等の30%が上限です。

※5 寄附金税額控除対象と指定されているかは、お住いの自治体のホームページをご確認いただくか、お近くの税務署にご確認ください。

□法人寄附の方

法人税法上の全額損金算入が認められる指定寄附金として、法人の所得から控除されます。

～ご寄附への感謝～

本学基金では、ご寄附をいただいた皆様方に感謝の意を込めまして、寄附金額に応じた顕彰制度を設けております。

- ウェブサイトへの芳名掲載【全寄附者対象】※掲載希望者のみ
- 大学からの定期的な情報提供【全寄附者対象】
- 学長懇親会へのご招待【ゴールドカテゴリー対象】
- 記念品の贈呈【シルバーカテゴリー以上対象】
- 感謝状の贈呈【ブロンズカテゴリー以上対象】
- 寄附者銘板への芳名掲載【ブロンズカテゴリー以上対象】※掲載希望者のみ

寄附金累計額

	寄附金累計額	
	個人	法人・団体
ゴールド	100万円以上	500万円以上
シルバー	50万円～ 100万円未満	200万円～ 500万円未満
ブロンズ	10万円～ 50万円未満	50万円～ 200万円未満

お問合せ
お申込

国立大学法人茨城大学 研究・社会連携部 社会連携課

〒310-8512 茨城県水戸市文京 2-1-1

TEL: 029-228-8781 FAX: 029-228-8495

URL: <http://www.ibaraki.ac.jp/fund/> E-mail: kikin@ml.ibaraki.ac.jp

